公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター

令和４年度　事業計画

Ⅰ　事業運営の基本方針

我が国は世界的にも例を見ない急速な速さで高齢化が進んでおり、伊豆の国市の高齢者人口推計値によると、令和２２年には６５歳以上の高齢化率は４１%まで上昇することが見込まれています。

こうした高齢化が進む中、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減に貢献しており、シルバー人材センターの果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

その一方で、収束が見通せないコロナの状況や改正高年齢者雇用安定法の影響(70 歳までの就業確保が事業者の努力義務)により、会員数の維持・確保はさらに厳しさを増し、ひいてはシルバー人材センターの健全な運営が困難となることも危惧されています。

こうしたシルバー人材センターを取り巻く環境変化の中、基本理念であります「自主・自立、共働・共助」の推進を堅持し、高齢者の就業機会の拡大・開拓や会員の増強を図るとともに、安全就業・適正就業の徹底、会員相互の協力体制の強化、会員の社会参加活動などの施策を推進し、高齢者が年齢にかかわりなく働ける環境整備に努めてまいります。

さらに限られた財源を有効に活用し、「最小の経費で最大の効果」を上げるよう、事務の効率化と経費の節減等、今まで以上に公益社団法人としての適正な財政・事業運営の推進を図るとともに、行政や他の関係機関と連携・協働し、会員の社会参加活動などの施策を推進することで、地域社会から信頼されるシルバー人材センターを目指します。

これらのことを踏まえ、本年度は次の事業を取り組んでまいります。

Ⅱ　重点項目

1　公益社団法人としての適正な事業運営
2　就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上
3　普及啓発事業の推進
4　会員の技能習得機会の提供及び就業意識の向上
5　安全・適正就業の推進

6　福祉・家事援助サービス、介護保険事業、介護予防・日常生活支援総合事業及び子育て支援事業の推進
7　派遣事業の推進
8　独自事業の推進
9　財政基盤の強化及び事務局機能の効率化

Ⅲ　事業実施計画

1　公益社団法人としての適正な事業運営

公益社団法人としての適正な事業運営や事務処理などを行うとともに、会員の生きがいの充実と社会参加の推進を図ることにより、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに貢献する。

2　就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上

(1)　会員入会説明会、市広報、ホームページ、マスメディア等を利用し、会員の増強を図る。
(2)　理事、会員及び事務局による企業訪問を行い、就業開拓を推進する。
(3)　ワークシェアリングを行い、就業ローテーション化を推進し、就業率の向上に努める。
(4)　未就業会員に就業（求人）情報を提供し、就業機会拡大を図る。
(5)　会員の協力による「一人一会員入会運動」を推進する。

3　普及啓発事業の推進

(1)　ボランティア（社会奉仕作業活動）を実施し、地域に密着したシルバー人材センターの理解に努める。
(2)　会報、チラシ、パンフレット、ホームページを活用し事業内容の紹介、会員の確保及び加入を促進する。
(3)　市内の各種イベントへの参加を通じ、シルバー人材センター事業の PR に努める。
(4)　市内の商工業、サービス業、観光業等への情報提供を行い、シルバーの意義や役割などの理解を得ると共に、就業機会の開拓と会員の増強に努める。

4　会員の技能習得機会の提供及び就業意識の向上

(1)　各種講習会を開催し、会員の技能習得及び技術の向上を図る。
(2)　地域班及び職群班の編成により、会員相互の連帯意識を高め、交流により就業に対する意識の向上を図る。

5　安全・適正就業の推進

（1） 安全・適正就業体制の強化に努める。
（2） 安全・適正就業推進委員会が定期的な巡回指導を行い、就業中の事故防止に努める。
（3） 就業前の「KY チェックシート（危険予知チェック）」を活用し、事前チェックの徹底を図る。
（4） 安全就業に関する会員講習会を開催し、安全に対する意識の高揚を図る。
（5） 熱中症や新型コロナウィルス感染症などに関するチラシ等を配布し、会員の健康に向けた自己管理意識の高揚を図り、併せて会員の健康診断の推進に努める。

6　福祉・家事援助サービス、介護保険事業、介護予防・日常生活支援総合事業及び子育て支援事業の推進
（1） 女性会員の加入を促進し、福祉・家事援助サービス、介護予防・日常生活支援総合事業及び子育て支援事業の充実を図る。
（2） 講習会や研修会を開催し、利用者のニーズに沿ったサービスの提供や就業会員の技術向上を図り、就業の拡大につなげる。

7　派遣事業の推進
　県シルバー人材センター連合会が派遣元となって進める労働者派遣事業を推進するため、派遣制度のメリットについて情報提供を積極的に行うとともに、多様な働き方を希望する会員の就業機会の拡大に努める。

8　独自事業の推進
　会員の自主的な取り組みにより実施される独自事業の良好な運営を図るとともに、新たな独自事業を開拓し、会員の就業機会の拡大を図る。

9　財政基盤の強化及び事務局機能の効率化
⑴ 自主財源の確保のため、就業機会の開拓・拡大を行い受託収益の増加に努める。
⑵ 経常経費の縮減に努め、支出の削減を図る。
⑶ 事務量の増加に対応した事務処理の簡素化・合理化に努める。